福岡市保健環境研究所における調査研究の体系図（H24～）

R1年5月現在

研究所使命	行政計画の視点	行政施策	取組	分類	主要業務	主な調査研究（主として平成24年度以降）
精確・迅速な試験検査とニーズを踏まえた調査研究により　豊かな環境及び市民の生命・健康を守り　安全・安心を確保する	安全・安心のための社会環境整備	健康危機管理体制の充実	健康危機管理体制の強化	A	要綱に基づく健康危機事案時の対応 健康危機に係る検査 健康危機管理演習	● 蚊のウイルス検査法の研究（H27～28） ● 健康危機管理体制の強化（下痢性貝毒検査法と乳のアフラトキシンM1検査法の検討）（H28） ● 健康危機管理のためのLC-Q/TOFMASを用いた植物性自然毒一斉分析法の開発（H30～R2）
			分析精度の向上・分析法の開発	B	精度管理に係る業務	● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27)＊再掲
			細菌による感染症予防	C	腸内病原菌の検査，結核菌・梅毒等の検査 飲用水の検査 浴場・プールの検査	● 生食用鶏肉類を原因とする細菌性食中毒予防の研究（H24～25） ● *Escherichia albertii* を原因とする細菌性食中毒予防の研究（H25～26） ● 福岡市内で発生した腸管出血性大腸菌（O157等）の薬剤感受性の推移（H27～28） ● 環境水からのリアルタイムPCRによる病原細菌の検出（H27～29） ● ヒトとウシから分離された腸管出血性大腸菌の薬剤耐性状況の推移（H29～30）
			ウイルスによる感染症予防	D	感染症発生動向調査等ウイルス検査 各種血清学的ウイルス検査	● 麻しん疑似症例診断法の検討（H23～24），麻しん患者数の正確な把握のための研究(H25～27） ● 蚊のウイルス検査法の研究（H27～28）＊再掲
		くらしの衛生向上	食中毒への対応と技術の応用	E	食品の微生物検査 食中毒に係る微生物検査	● カンピロバクター感染症に関する研究(H23～24) ● 生食用鶏肉類を原因とする細菌性食中毒予防の研究(H24～25)＊再掲 ● *Escherichia albertii* を原因とする細菌性食中毒予防の研究(H25～26)＊再掲 ● カンピロバクターおよび大腸菌に感染するバクテリオファージに関する食中毒予防に向けての研究（H26～27） ● 生鮮魚介類の喫食による寄生虫性食中毒の調査研究（H27～29） ● *Campylobacter*属菌の迅速検査法の検討(H27～29) ● 食品及びヒトから分離した*Campylobacter jejuni/coli*の疫学的解析　（仮称）（H30～R2）
			食品添加物への対応と技術の応用	F	食品添加物の検査 食品の成分規格の検査	● 輸入食品中の指定外食品添加物一斉試験法の開発(R1～2)
			遺伝子組換え・アレルギー食品への対応と技術の応用	G	遺伝子組み換え食品の検査 アレルギー物質の検査	● 加熱加工食品におけるアレルギー物質（小麦）の遺伝子検査法の検討（H28～29）
			残留有害物質への対応と技術の応用	H	食品中の残留農薬・動物性医薬品等の検査 食品中の有機汚染物質の検査 血中PCBの測定	● 農薬及び動物用医薬品の検査法の開発・検証と残留実態調査(H13～24) ● 健康食品中の医薬品成分の検査法の検討(H17～24) ● 食品中の有機水銀試験法の開発(H22～23)、有機水銀摂取量調査(H24) ● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27) ● 食品中に残留する農薬等の一斉試験法及び一日摂取量調査に関する研究（H26～28） ● 食品中のヒ素形態別分析法の改良と海産物の実態調査（H28～30）
	豊かな自然と歴史に育まれ　未来へいのちをつなぐまち	未来につなぐ低炭素のまちづくり	温暖化対策	I	栄養塩類物質循環調査	● 沿岸海域環境の診断と地球温暖化の影響評価のためのモニタリング手法の提唱（H23～25） ● 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（共同研究）（H26～28） ● 海域における水質管理にかかわる栄養塩・底層溶存酸素状況の把握に関する研究（共同研究）（H29～R1）
		資源を活かす循環のまちづくり	ごみの減量化・再資源化	J	一般廃棄物に関する調査 ごみ減量に関する調査研究 リサイクルに関する調査研究	● 家庭系不燃性廃棄物の組成調査(H16～) ● 資源化センターの減容化・減量化調査（H16～29） ● 緑のリサイクルセンターの効率的運営方法の検討(H22～25) ● 空きびん・ペットボトル収集袋中の組成調査(H23～24) ● 空きびん・ペットボトル収集袋中の組成および排出状況調査(H24～26) ● 家庭系燃えるごみ中の手つかず食品等の排出実態調査（H28～R1） ● 事業系食品廃棄物の排出状況調査（H29～R2）
		快適で良好な生活環境のまちづくり	廃棄物の適正処理	K	廃棄物処理施設の維持管理に関する試験検査 廃棄物処理に関する試験検査	● 清掃工場ボイラー水管の腐食に関する調査（H29～R1）
			化学物質等の環境リスクへの対応	L	ダイオキシン類，環境ホルモン等の分析 有害大気汚染物質の検査 アスベストの検査 家庭用品の調査 微量化学物質の分析・調査	● 有機フッ素化合物の環境実態と排出実態に関する調査（H21～24） ● 水環境における医薬品類の実態調査(H22～24) ● 水環境における農薬・医薬品類等の実態調査(H25～26) ● 国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明（H25～27） ● 高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究(共同研究)（H28～30）
			広域的汚染実態の把握	M	酸性雨の調査・研究 フロンの検査 オキシダント・黄砂・PM2.5の調査研究	● PM2.5と光化学オキシダントの実態解明と発生源寄与に関する研究H(22～24) ● 大気中の酸化的二次生成物質の測定と遺伝毒性評価(H23～24) ● PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明(H25～27) ● PM2.5の健康影響調査(H25～27) ● PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明(共同研究)（H28～30）
			生活環境の保全	N	事業場排水等に係る検査 地下水等の水質検査 大気常時監視の検査 浄化槽の水質検査 ダニ・異物の検査 熱中症に関する調査研究	● 悪臭物質調査方法の検討(H23～24) ● 熱中症（暑さ指数）に関する調査（H26～27） ● 博多湾の海ごみ組成調査（R1） ● 福岡市内における熱中症救急搬送と気象条件との関連に関する調査研究（H29～30）
		市民がふれあう自然共生のまちづくり	生物多様性の保全	O	河川の底生動物モニタリング 博多湾の調査 特定外来生物調査	● 福岡市内河川の底生動物をもちいた環境評価(H4～) ● ゴケグモ類の生態等に関する調査研究（H24～25） ● 特定外来生物（アライグマの生息域）に関する研究（H25～26） ● 博多湾の干潟・浅海域における市民共働の生態系機能の保全・創造に関する調査研究（H28～R1） ● セアカゴケグモの耐寒性に関する調査研究（H29）
		産・学・官との連携・共同研究		P		● 有機フッ素化合物の環境実態と排出実態に関する調査（H21～24）＊再掲 ● 大気中の酸化的二次生成物質の測定と遺伝毒性評価（H23～24）＊再掲 ● 水環境における農薬・医薬品類等の実態調査（H25～26）＊再掲 ● 福岡市における魚介類からの有機ヒ素の試験法開発と実態調査(H25～27)＊再掲 ● PM2.5の健康影響調査（共同研究）（H25～27）＊再掲 ● PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明（共同研究）（H25～27）＊再掲 ● 国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明（H25～27）＊再掲 ● 沿岸海域環境の物質循環現状把握と変遷解析に関する研究（共同研究）（H26～28）＊再掲 ● 福岡市内で発生した腸管出血性大腸菌（O157等）の薬剤感受性の推移（H27～28）＊再掲 ● PM2.5の環境基準超過をもたらす地域的/広域的汚染機構の解明（共同研究）（H28～30）＊再掲 ● 高リスクが懸念される微量化学物質の実態解明に関する研究(共同研究)（H28～30）＊再掲 ● 食品中のヒ素形態別分析法の改良と海産物の実態調査（H28～30）＊再掲 ● 博多湾の干潟・浅海域における市民共働の生態系機能の保全・創造に関する調査研究（H28～R1）＊再掲 ● 博多湾の海ごみ組成調査（R1）＊再掲 ● 海域における水質管理にかかわる栄養塩・底層溶存酸素状況の把握に関する研究（共同研究）（H29～R1）＊再掲
		保健・環境に関する教育・情報の提供及び国際貢献	教育・情報の提供	Q	まもる一む福岡の企画管理運営 HP等による情報発信 広報誌（ほかんけんだより）の発行 ほかんけん研究者体験の実施	● 熱中症（暑さ指数）に関する調査（H26～27）＊再掲
			国際貢献	R	海外研修生の受入 海外派遣	